

**勤めながら出来る  
発明起業**

**9**

日曜発明ギャラリー代表  
小林 豊博

**手作りの個性的な名刺を持つ!**



「なるほど、分かりました、お店に置いてあげましょう。」

東京神田のゴルフショップの店長の言葉でした。クールビットの商品化初期に冷える日よけカバー、クールビット・スポーツと名付けた商品を説明した時のことです。

飛び込みで、お店に入り、自分のアイデア商品を売り込むのは、大変に勇気がいることです。そんな時に役立ったのが、「日曜発明ギャラリー 代表」と記載のある私の名刺でした。

明らかに、何やら、個人の発明の関わりを示唆するネーミングです。何だろう?と興味を示してくれます。話の展開で得をしている気がします。

そんな経験から、ネーミングだけでなく、もっと面白い、ユニークな名刺ってないのだろうか、と考えていました。2枚重ね、大き目で目立つもの、光沢のあるもの、等思いつきましたが、あまりインパクトがありませんでした。

そんなある時、光回折ホログラムに興味を持ち、特許を調べ、某大手印刷会社を訪ねました。そこで、ある試作品のフィルムレンズを見せて頂いたことから始まり、商品化できたのが、「ハートミルカード」と名付けた名刺大のカードです。

そのカードに開けたハート形の小さな窓に、特殊フィルムを貼りキャンドルやライターの炎を見ると、周囲に虹色のハートがゆらゆらとかわいく輝いて



「ハートミルカード」で検索できます。

見えるというものです。

これを50枚セットにした、ブライダル披露宴でのキャンドルサービスに使うカードとして、雑誌企画会社から商品化され販売されました。

これを家内が仕入れて、ネットSHOPで販売していると、多くの感想が寄せられました。その中で、「友人から、何よりの引き出物より、このカードが良かった!」という新婦からの感想には、大変嬉しかったものです。

最近の結婚式の披露宴は、派手というよりは、手作り感のするものが好まれる傾向にあります。それに合わせ、当社では、家庭のプリンターで簡単、綺麗に印刷でき、輝くハートの見えるホログラムフィルムを後から張り付ける、手作りハートミルカードセット(50枚セット)として低価格化を図り、新たな商品としてリニューアル、ネット販売を始めました。

私は、最近これを自分の手作り名刺として使っています。このユニークな名刺は私にとって、今、素晴らしいコミュニケーションツールになっています。ライターの炎等がかがすと、この名刺の小さな窓から見える、そのかわいらしく輝くハートの光に、皆さん大変驚嘆します。そこから、会話のきっかけをつかむことが出来るのです。



これは、つい最近のドイツでクールビットの展示会出展での写真です。彼女達が手にしているのは私のハートミルカード名刺です。手作りの個性的な名刺が私の仕事を楽しくしてくれています。次回はネットワークを作ろう!というお話です。

**【著者】** ある大手電機会社の開発エンジニアを30年ほど経験。その後、住宅設備営業企画部門へ転属。そのころから趣味の発明を始め「冷える帽子クールビット」で特許、意匠、商標等多数登録。定年を契機にその会社の運営に携わる。

URL : [www.coolbit.jp](http://www.coolbit.jp)

株式会社 日曜発明ギャラリー 社長 小林 豊博

電話 : 054-625-0839 / F A X 054-625-1898

〒425-0053 静岡県焼津市すみれ台2-11-3



No.657

5月号

# 発明ライフ

2010年



発行所 社団法人発明学会

発行・編集人 平井 工

〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03-5366-8811(代) FAX03-5366-8495

ホームページ http://hatsumei.jp

郵便振替口座 00110-2-159673

年間購読料送料共 5,000円/1部500円(送料68円)  
(会費中に購読料を含む)



## 加齢で伸ばす発明力

「発明の世界には定年がない」、とはよく言われることです。

ビジネスの世界には、事務処理力や行動力、体力などの関係で、60歳を一応の区切りに定年が設けられています。しかし発明の世界で大切なことは、経験と知識と情報、の三要素です。

この三要素は、それまでの長年の積み重ねがモノをいいます。何も無いところから、突然にアイデアがヒラメクわけではありません。アイデアは、特定の目的に向かって選択された知識と経験、情報が結びついて生まれます。

したがって、加齢を積むにしたがい活躍するケースが目立ちます。例えば有名な豊田佐吉の特許取得量の状況を見ると、40代に25件、50代22件、60代28件でこの年代が最高です。20代と30代の頃は特許の知識がなかったかも知れませんが0件です。当時の60代は、現代の年齢からすれば、まさに高齢者です。東芝を創立した田中久重は75歳のときに電信機を作り、77歳のときに東芝の前身である田中製造所を創設しています。その後次々に開発に取り組んでいるのです。

身近な会員で例えれば、永田栄吉さん。生卵の黄身に付いている、あのドロリとした白いカラザを取り除くスプーンを発明して商品化したのは、昨年84歳の時です。四葉のクローバーに似ているところから“クローバースプーン”とネーミングをつけました。永田さんが元気でイキイキと発明に取り組む姿がテレビで何度も紹介されて、クローバースプーンも好調に売られています。永田さんのように高齢で活躍する会員はたくさんいます。

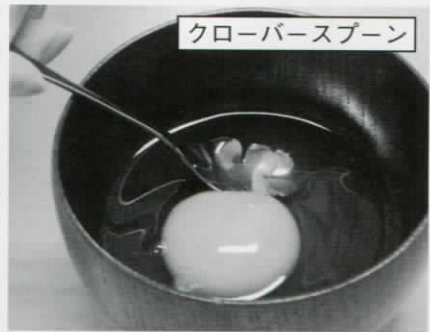
発明に定年はない。いや歳を積み重ねるほど、それだけ多くの経験と知識を身につけて、ますま

す発明に磨きがかかる。それが発明の世界の面白さといえます。

若い人の新鮮な発明センスは大切なことです。商品化される発

明が生まれ出されます。中高年の方は、これまで貯めた知識と経験を活かして発明パワーを全開すれば、もっとたくさんの発明が生まれます。いまこそ発明で活躍しましょう。

(平井 工)



### 発明ライフ -5月号目次-

- 加齢で伸ばす発明力 .....1
- 女子高校生たちが白いリングを開発 .....2
- 発明商品化ニュース
- 身近なヒント発明展入選作が商品化 .....3
- 小学生に大ヒット“瞬足”の発想法 .....4
- 主婦の駆け出し発明事業化② .....5
- 勤めながらできる発明起業⑨ .....6
- 発明が発する幸福感⑨ .....7
- アイデア求めます
- 「ゲルシートの新用途」「セーフティグッズ」...8
- この会社に商品化提案⑬
- 「マジックテープ®の新用途」 .....9
- アイデアマンライフ
- 「ジャンピングシューズの発明者は誰？」 .....10
- 会員便り .....11
- フラワーガーデンショー報告 .....12
- 市民ちょっと便利展/東京日曜発明学校/  
「文具のアイデア発想と商品化」講演会 .....13
- 発明と特許講座のご案内 .....14・15
- 街の発明家のショッピングサイト誕生/  
第12回 ジュニア発明展作品募集 .....16